

## 事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主管所属	文化観光国際部世界遺産登録推進課
施策名	(1) 2つの世界遺産等を活用した観光地づくりと誘客拡大	課(室)長名	村田 利博
事業群名	① 価値を正確に伝え守る仕組みづくりの推進	事業群関係課(室)	観光振興課

### 1. 計画等概要

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

##### 《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

世界遺産登録に伴い増加が見込まれる来訪者に対し、その価値の理解増進対策や文化財としての保全対策などを講じる必要があります。特に祈りの場である教会堂へは十分な配慮を行いながら、秩序ある公開・広報の実現に向けて取り組みます。

一方、産業革命遺産については、8県11市に資産が分布しており、生産活動を行う民間企業の資産が含まれていることから、国や関係縣市、資産所有企業等と連携した取組を進めます。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】 「長崎の教会群」の平成28年世界遺産登録が見送られたことに伴い、世界遺産としての価値の理解度を把握するためのアンケート等の実施が困難となったため、実績値なし。
来訪者理解度	90%	-	-	-	
事業群の進捗状況					

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

##### 《取組項目及び現状と課題》

i) 世界遺産としての価値を伝え守る仕組みづくり

① 構成資産や信仰の場を守るための教会守の配置や教会堂見学の事前連絡による受入の調整

- ・大浦天主堂を除く構成資産内の全ての教会堂(国指定文化財)に関係市町が教会守を配置している。
- ・長崎の教会群インフォメーションセンターにおいて、教会堂見学の事前連絡システムの運営を行っている。また、各集落における受入の仕組みづくりも検討する必要がある。
- ・信仰の場を守るための取組みとして、今後もこれらの仕組みを維持していくとともに、事前連絡制の更なる周知徹底を図る必要がある。

② 「長崎の教会群」の価値を深め、伝え、将来に向けて守っていくため、調査研究・情報発信・意識醸成の機能(世界遺産センター(仮称))の整備

- ・構成資産の価値を正確に伝え共感を生み、誇りを育み、将来に向けての保護を実現するため、「情報戦略のあり方」を策定した。
- ・「情報戦略のあり方」に基づき、資産の価値を正確に伝えるための地域間のバラつきがないよう統一的な情報発信のコンテンツづくりを進めるとともに、今後設置予定の「世界遺産センター(仮称)」等における情報発信の方法や内容についても、更に検討する必要がある。
- ・推薦書の見直しにより、現在発信している情報内容の修正などが必要となる。

③ 歴史的価値を内外に広めるためのミュージアム連携の推進及び「長崎の教会とキリスト教関連の歴史文化遺産群」における登録資産の県内市町への拡大

- ・これまでの協議の中で構成資産から外れた資産を含む世界遺産候補以外のキリスト教関連の資産について、ウェブサイト「おらしょーこころ旅ー」による情報発信を実施している。
- ・ウェブサイト以外でも情報発信を行う新たな手段を検討する必要がある。

## 2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率		
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—			
取組項目 i	世界遺産情報発信事業	H19-	100,154	10,775	32,224	県民、イベント来場者	「情報戦略のあり方」を策定するとともに、ウェブサイトやパンフレット、インフォメーションセンターにおけるパネル展示などにより、世界遺産にかかる情報発信を行った。	活動指標	世界遺産としての価値を伝えるためのパネル展や講座等のイベントへの参加者数	1,000	6,090	609%	昨年度は海外でパネル展を実施し、多くの来場者に教会群を紹介することができた。	○
	世界遺産登録推進課		66,908	3,681	32,260			成果指標	H27:世界遺産登録に対する県民の理解度(%)	90	96	106%		
					成果指標			H28:イベント等参加者へのアンケートによる、世界遺産としての価値の理解度(%)	90	-	-			
	世界遺産受入体制整備促進事業	H26-28	10,617	10,617	10,473	NPO法人長崎巡礼センター・市町・観光協会・観光ガイド団体	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向け、誘客やガイド養成等の受入体制の向上を図る取組を支援した。	活動指標	ガイド養成講座開催数	15	28	186%	個別地域のガイドや広域に跨るスルーガイド等、観光客の多様なニーズに応じたガイド養成等の受入体制整備を進めることができた。	
	観光振興課		6,645	6,645	10,485			成果指標	ガイドの会(巡礼地含む)でガイドした観光客数(人)	45,000	51,367	114%		

## 3. 検証及び問題点の抽出

### 【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

- ① 構成資産や信仰の場を守るための教会守の配置や、事前連絡システムを運営する「長崎の教会群インフォメーションセンター」を支援するとともに、各種広報誌等において事前連絡制の周知を行った。今後は増加が予想される外国人への外国語対応について検討する必要がある。
- ② 「長崎の教会群」の価値を深め、伝えるため、統一的な戦略や運用方法などの情報戦略についてガイドラインを作成した。なお、推薦書を一旦取り下げ、内容の見直しを行っているため、ガイドラインの一部を修正する必要がある。
- ③ 歴史的価値を内外に広めるため、「おらしょーこころ旅ー」においては、コンテンツを定期更新(月・水・金)するとともに、主要ページの外国語版(英語、韓国語)を作成し、構成資産以外の資産についても情報発信を行った。今後は、推薦書の内容変更により、構成資産以外の関連遺産の情報も多く発信する必要があるため、ウェブサイト以外の方法についても検討していく必要がある。

## 4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
推薦書の見直しにあわせて、改めて世界遺産としての価値や構成資産等についてしっかりと伝えていく。 また、関係者と協議を行いながら、価値を正確に伝えるための仕組みづくりや「世界遺産センター(仮称)」での情報発信の方法等について見直しを行うとともに、策定した「情報戦略のあり方」の修正を行う。 さらに、事前連絡については、引き続きあらゆる機会を通して周知徹底を図るとともに、外国語対応など取組みを検討していく。	世界遺産情報発信事業	—	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の価値をしっかりと伝えるとともに、本来の目標である、世界文化遺産登録を進める上で必要な周知啓発であるため、今後も同様の手法で充実を図る必要がある。 そのため、平成28年度に新しい価値に基づいた情報戦略を定めるとともに、平成29年度より統一的な情報発信を行っていく。	現状維持
	世界遺産受入体制整備促進事業補助金	②	世界遺産登録に向け、今後ますます観光客の増加及びガイドの需要増が見込まれることから、スルーガイド及び地域ガイドの養成・拡大等を更に進め、需要に応えられる受入体制の整備を進めていくことが必要であるため。 また、世界遺産ツアーに関するエージェンツ対応も増加傾向にあり、そのための受入体制の整備促進には不可欠である。	現状維持